

木津川地域の特性

大阪府立江之子島文化芸術創造センター

昭和13年に竣工した近代建築を改修し、今年の4月にオープン。展示室やアトリエ、カフェ、音響室等を有し、アーティストやデザイナー、府民、NPO、大学、企業等、多様な個人や組織の創造的活動を支援する拠点として運営。

かつての政治の中心地江之子島

明治から大正にかけて、大阪府庁・市役所が立地していた。かつての高級役人用の住まい木村家住宅（大正初期、登録文化財）が川沿いに残る。府立産業技術総研跡地は事業コンペによりまちづくり開発実施中。

尻無川跡と松島公園

木津川沿川で最も絶景かなスポットとなっている松島公園。旧松島遊郭の跡地で、埋め立てられた旧尻無川の分岐点。

商店街とシネ・ヌーヴォ

九条商店街の裏にある市民出資の名画ミニシアター。若手の発掘や情報発信も行う映像拠点。

木津川ウォール・ペインティング

公共空間を舞台にアート作品を展示発表する大阪府の「おおさかカンヴァス推進事業」の一環として、護岸壁に壁画を描くプロジェクトを展開。これまでに20点を超える作品が完成している。対岸の遊歩道整備と一体で進めることで、魅力ある親水空間を目指している。

京セラドーム周辺の船着場と公園・緑地

京セラドーム前には船着場があり、その周辺は、広々とした親水空間となっている。千代崎橋から歩道橋にかけての木津川右岸は緑道となっており、アドボトリーバー制度により千代崎連合振興町会が清掃や草花の手入れを行っている。

三泉商店街

1910年創設の老舗商店街。かつて存在した尻無川の渡船場に向う通りとして発展した。